

東日本大震災支援 全国ネットワーク



ずっと、つづく支援を。

2012年度
年次報告書

JCN

2012 - 13

SUMMARY ANNUAL REPORT

Japan Civil Network for Disaster Relief in the East Japan (JCN)

東日本大震災支援全国ネットワーク（JCN）

2012 年度 年次報告書 目次

「忘れない」をカタチに	2
JCNとは	3
JCNの理念と役割	3
JCNの活動	3
JCNの沿革	3
被災地支援活動の実施状況	4
広域避難者支援活動の実施状況	6
後方支援活動の実施状況	8
助成・寄付者一覧	9
財務諸表	9
ご協力いただいた団体・個人のみなさま	10

組織概要

組織名称	東日本大震災支援全国ネットワーク（JCN） Japan Civil Network for Disaster Relief in the East Japan
参加団体数	840 団体
代表世話人	栗田暢之（NPO 法人 レスキューストックヤード） 田尻佳史（認定 NPO 法人 日本 NPO センター） 山崎美貴子（東京災害ボランティアネットワーク／ 「広がれボランティアの輪」連絡会議）
世話団体	認定 NPO 法人 国際協力 NGO センター NPO 法人 シーズ・市民活動を支える制度をつくる会 社会福祉法人 中央共同募金会 東京災害ボランティアネットワーク 認定 NPO 法人 日本 NPO センター 公益財団法人 日本財団 日本生活協同組合連合会 公益社団法人 日本青年会議所 日本赤十字社 公益財団法人 日本 YMCA 同盟 「広がれボランティアの輪」連絡会議 一般社団法人 ユニバーサル志縁社会創造センター NPO 法人 レスキューストックヤード
監事：	齊藤誠（齊藤弁護士事務所） 脇坂誠也（脇坂税務会計事務所）
事務局：	東京都千代田区大手町 2-1-1 新大手町ビル 245 JNPOC 気付 TEL.03-3277-3636 FAX.03-6701-7332 URL. http://www.jpn-civil.net/

（2013 年 5 月 31 日現在）

「忘れない」をカタチに ～ 3 月 11 日によせて ～

東日本大震災から 2 年が経ちました。

2 年という月日が短かったのか、長かったのかは、人により感じ方はさまざまだと思います。震災の記憶は、ひとり一人違いはあれ、忘れられるものではありません。誰もが体感したあの大きな揺れと、その後の津波や原発事故は、日本を大きく傷つけました。その光景を目の当たりにした時、誰もが「何かをしたい」と感じ、それは多くの自発的な行動を生み出しました。

時の流れは、日常の生活ではありえない異物を、日常化させてしまう力を持っています。この 2 年の間に、目に見える被災地の光景は大きく変わりました。散乱した街の姿も、救助や捜索をする人の姿も、ライフラインの復旧に奔走する人の姿も、一部の地域を残して、ほとんど目にするものがなくなりました。地震や津波の傷跡も、昼夜なく続く工事車両の車列も、仮設住宅のプレハブさえも、街の光景のひとつになってしまいました。そして、目には見えないものも同様に、日常となりました。心に刻まれた傷や、さまざまな日々の苦労や苦悩など、被災された方々や避難生活をおくる方々の制約された厳しい生活は、時の流れとともに今もなお続いています。

それでも、前に向かって一步を踏み出そう、自分たちの生活を、安全を、まちを、自らの手で取り戻そうという力強い動きがたくさん芽吹き始めています。この生まれたての力がいつまでも継続し、さらに大きな力となって、生活の再建、さらには日本の復興の原動力となることを願っています。

東日本大震災支援全国ネットワークも設立から 2 年。私たちは、被災された方々、避難されている方々と寄り添いながら、多くの仲間と共に歩んできました。この先も「ずっと、つづく支援を」を合言葉に、さらに多くの仲間と共に、歩んでいきたいと思っています。

被災地で起きた数々の困難な出来事は、その姿を変えながら今もなお続いています。2 年が過ぎたこの時期は、これらが同じ日本で起こっている現実の出来事であることを、日本全体が再認識するときでもあります。被災地でも、被災地の外でも、大きなことでも、小さなことでも、あの時感じた「何かをしたい」という思いを、「忘れない」という思いを、カタチにしていきたいと思います。

2013 年 3 月 11 日

東日本大震災支援全国ネットワーク（JCN）

JCNは、民間支援団体の連絡組織です

東日本大震災支援全国ネットワーク（JCN）は、2011年3月に発生した東日本大震災における被災者・避難者への支援活動に携わるNPO、NGO、企業、ボランティアグループなどが参加する、セクターを越えた民間支援団体による全国規模の連絡組織です。

発災当初は、主に災害救援を目的な活動とする団体の自助的な連絡機能として発足しましたが、震災3年目を迎える今では、保健・医療・福祉・教育・まちづくり・観光・農漁業・文化・芸術・環境・情報・就労・雇用・提言・助言・法律等々、様々な分野において被災者・避難者を支援する団体が参加する、災害後における民間支援団体の総合的な情報受信組織として認知され、その社会的役割を担うまでになってきました。

つながりづくりで貢献します

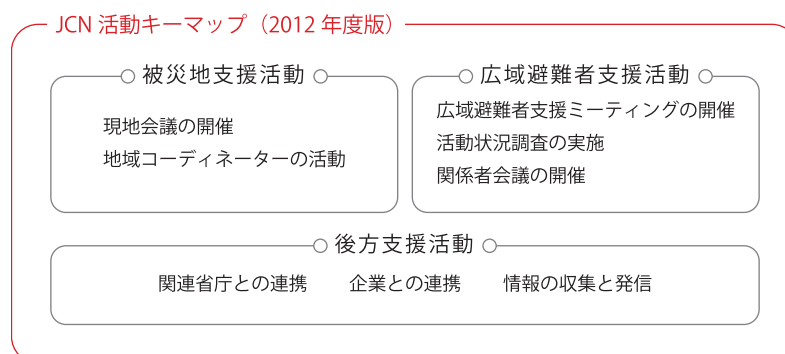
JCNは、民間支援団体のネットワークづくりを通じて、被災者・避難者への支援活動の継続と、被災地の復旧・復興の一端を担い、日本の「いのち・くらしの再建」に寄与していきます。すべての活動の基軸に、次世代を見据えた「ネットワークづくり」を置き、支援団体間の「つながり」を促進しています。

JCNの沿革

2011年	
3月	設立総会 暫定ML「higashinohon」を開設 暫定ウェブサイトを開設
4月	公式ウェブサイトを開設 公式ML「main」「negai」を開設 省庁との定例連絡会議を開始 支援状況マップ暫定版を公開 ボランティアバス運行情報を公開
5月	現地会議を開始
7月	支援状況マップ公式版を公開
9月	第1回全体ミーティングを開催
10月	広域避難者支援状況リストを公開
2012年	
3月	第2回全体ミーティングを開催 広域避難者支援意見交換会を開始
4月	広域避難者支援活動実態調査を実施 保養プログラム情報を公開
6月	広域避難者支援ミーティングを開始
9月	ものづくり情報を公開 被災地支援状況マップをリニューアル
10月	英語版ウェブサイトをリニューアル
2013年	
1月	全国交流会情報を公開 若手会議を開始
3月	東北応援ビレッジを開催

3つの活動で支えます

JCNは、被災地を支援する団体のつながりづくりと、広域避難者を支援する団体のつながりづくり、そしてそれらを後方から支援する活動の3つを基軸にし、支援活動を継続するためのネットワークづくりを推進しています。



被災地支援活動の実施状況

現地会議の開催

JCNでは、2011年5月より、支援団体間のつながりづくりの一環として、被災地域において支援団体が集まる場「現地会議」を定期的に開催しています。会議のプログラムは、「知る」「学ぶ」「つながる」の三部構成を基本とし、被災地の支援団体の活動状況の共有、被災地外からの先進事例や役立つ情報の提供、会議参加者全員で話し合うつながりづくりの場を提供しています。

表1. 2012年度の現地会議の開催状況

開催月	場所	テーマ	参加者数
7月	大船渡市	今後の支援・連携の在り方を考える	120名
8月	仙台市	住民と支援者が一緒に歩むためのヒント	113名
11月	盛岡市	ヒトのはなし。カネのはなし。	201名
12月	二本松市	ふくしまと共に、ふくしまで考える	105名
12月	仙台市	支援を継続するためのコツとヒント	130名
3月	釜石市	行政と民間の協働のカタチ	80名
3月	いわき市	複合災害に向き合うための支援のあり方	79名
3月	石巻市	3年目の支援を考える	111名

2012年度の現地会議は、現地の支援団体が活動を続けるうえで抱える問題や課題を「共に考える場」というコンセプトのもと、計8カ所で開催し、のべ939名の参加をいただきました。

また2月には、現地会議のスピノフ会議として、岩手県の若手のリーダーが集まる「若手会議」を岩手県大船渡市で開催し、80名の参加をいただきました。



【トピック】 現地会議に参加された方々のご意見・コメント

- ・ 毎回良いテーマを設定され、勉強させていただいています。
- ・ とても有意義な時間でした。今後の支援活動につなげていければと思います。
- ・ 各団体の情報交換の場をもっと設定してほしい。
- ・ 時期にマッチした良いテーマでした。
- ・ 時間が足りないように感じました。時間があればとても良いプログラムになっていたと思います。時間が短く感じました！
- ・ プレゼン形式を用いない回があってもいいかもしれませんね。
- ・ このような集いをずっと続けていっていただきたいです。民間と行政が直接語る場、NPO同士が語る場などなど。
- ・ 復興プロセスのプラットフォーム、地域再生のプラットフォームの場として存在し続けてほしい。
- ・ 全体を知るというチャンスは少ないのでとても良い機会です。
- ・ 初めて出席しました。いろいろなことが分かりよかったです。
- ・ 復興まちづくり計画についての活動方法などの会議を開催していただきたい。
- ・ 発表者人数も少なくてもよい。発表者の方もしゃべらないことがあるのではないのでしょうか？
- ・ 現場の生の声が多く聞かれる場にしてください。
- ・ 企業でも個人でもそうですが、自立し、力をつけ、つながる。すごく大事なことを再認識しました。
- ・ 横の連携を深めてくれるこのような機会はありがたい。
- ・ いろんな立場の人の意見を聞いてよかったなと思いました。
- ・ 参加することができ本当によかったです。このような会議はこれからも必要だと思います。
- ・ いろいろ連携して、これからもよろしくお願いします。
- ・ ただ、ばらばらに座るのではなく、地域ごとに席を分けたらもっとネットワークをつくりやすいと思います。
- ・ 関東でもこのような会が催されているのでしたら、参加したいなと思いました。
- ・ 細かい視点を通したネットワークの重要性を感じた。
- ・ 今後も色々企画してほしいです。現在復興に関わっていない人たちをもっと巻き込むような企画を期待します。
- ・ 活動場所から近い場所で開催していただけたらうれしいです。
- ・ ぜひこのような会を継続してください。未来へのワクワク感という点、そして生の声が出やすい環境づくりという点で。
- ・ 行政も含めたネットワークの構築が大切ですね。
- ・ 現地会議で話される内容を、マスコミ等への広報を利用しながら一般に知らせてほしい。

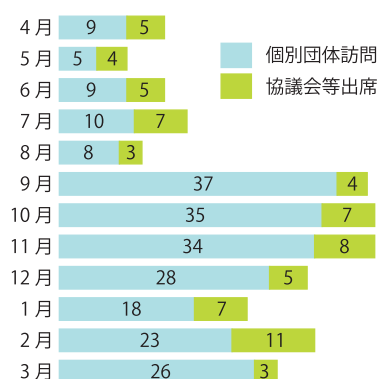
(※現地会議参加者アンケートより抜粋)



地域コーディネーターの活動

JCNでは、岩手県、宮城県、福島県の主要被災3県にコーディネーターを派遣し、支援団体、社会福祉協議会、行政機関等への訪問や、各地の連絡・調整会議等への出席等を通して、各地の支援状況の把握に努めています。

団体等訪問数（2012年度）



地域コーディネーターは、団体訪問等を通して得た情報から、被災地の支援活動を継続するうえでの課題や問題を抽出し、団体間の直接的な連携の促進、現地会議のテーマ設定の検討等、JCNの被災地支援活動の全般に貢献しています。

【トピック】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・地域コーディネーターのコメント

● 岩手県担当：中野圭

2012年度は、震災支援活動にあたる団体が中長期的な事業計画を模索する場面が多く見受けられた年でした。また、震災以前から抱えてきた課題への対応が求められることが増えたようにも感じます。現地会議では、連携構築・人材・資金・ノウハウ・行政との協働等の課題にアプローチし、日々の団体訪問では、運営支援にかかるアドバイスや関連する他の団体へおつなぎしてきました。また、県内で活動する多くの若手の方々に参加いただいた「若手会議」が開催できたことは、地域の新たなネットワークの形成につながっています。今後も、JCNで蓄積される情報とつながりを、風化防止と課題解決に結び付けていきたいと思っています。

● 宮城県担当：池座剛

2012年度は、被災地の団体、住民のみなさんの主体性を尊重し、その活動を被災地外の団体が下支えするといった年だったように感じます。下支えするにあたり、情報をまとめて発信するだけでは支援を本当に必要としている人や団体には届かず、仮に届いたとしてもその情報を上手く活用できるのはごく僅かです。現地に足を運び地元の方々の声を聴き、信頼関係を築くことは、JCNの地域コーディネーターの役割のひとつ。その場で問題が解決されなくても、長く現地に関わり続けることで一緒に悩み課題に向き合っていく。そんな機会を提供していくことが「支援団体を支援する組織」のあるべき姿だと日々感じています。

● 福島県担当：鈴木亮

2012年度は、現地会議を通して培われたネットワーク、JCNに参加されている団体や世話団体のみなさまとの関係を強化しつつ、地域の課題解決に取り組みました。福島においては震災後に発足した団体が、震災前から生活支援や地域課題に取り組む団体と連携を深めつつあります。原発事故に起因する負の要因も残っていますが、地縁の強さを活かした事業の創造、前向きで具体的なビジョンを掲げたネットワーク構築など、明るい材料も見えてきました。福島県では約16万人が避難状態にあるという現状に対して、支援の質・量の強化、特に沿岸部で活動をする団体との連携を深める取り組みを継続する必要があります。JCNが持つテーマ横断性と全国規模のネットワークを今まで以上に活用させていただき、団体訪問、ネットワーク会議等への参加を継続し、福島県発の情報発信を広く迅速に行っていききたいと思います。



広域避難者支援活動の実施状況

広域避難者支援ミーティングの開催

JCNでは、2012年度から、広域避難者を支援する団体や避難当事者団体等のつながりづくりの一環として、広域避難者地域において支援団体が集まる場「広域避難者支援ミーティング」を定期的に開催しています。

表2. 2012年度の広域避難者支援ミーティングの開催状況

開催月	対象地域	開催地	団体数/人数
6月	東海地方	名古屋市中村区	76団体/116名
7月	近畿地方	大阪市西区	82団体/126名
8月	山形県	山形市	101団体/141名
10月	四国地方	松山市	20団体/41名
12月	中国地方	広島市中区	71団体/126名
2月	九州地方	福岡市博多区	34団体/40名
3月	東京都	新宿区	90団体/133名
3月	北信越地方	新潟市中央区	16団体/20名

2012年度の広域避難者支援ミーティングは、計8地域で開催し、のべ490団体、743名の参加をいただきました。ミーティングは、広く参加者を募り多くの方々でつながりあう形式と、あらかじめ関係者を選定して小さく開く形式を、避難地域の特性や支援活動の状況を考慮しながら適宜使い分けるように工夫しました。



【トピック】..... 広域避難者支援ミーティングに参加された方々のご意見・コメント

- 他の地域で開催された内容についても知りたいです。
- もっと草の根の支援者情報がほしいですね。
- これからも定期的に集うことができたらいいなあと思いました。
- 良い活動なので、もっとたくさんの人に知ってもらえるよう、露出を増やす活動を望みます。
- 各県には異なった状況があると思われますが、広域でつながることによって行政や国への働きかけも大きくなれば良いですね。
- 今後、起こりうる災害時に全国的に連携してゆるけるネットワークになっていければと思います。
- 行政・企業・市民の異質な協働と、地元の課題解決のリレーが広がることを願っています。次の機会を楽しみにしています。
- 県別または2～3県に1つ程度のミーティングを実施していただきたい。ブロック会議、役員を設けてほしい。
- 被災県以外からの自主避難者をフォローするようなテーマ設定も必要。
- 他県の情報の提供と、民間の全国組織として国への支援要請（要望）活動もぜひ。
- 平日では時間が足りないように思います。1日という時間を取っても良いのではと思います。
- 地域は地域でネットワーク（つながり）をつくっていかなくてはと思いました。
- 被災地から遠い地方で開催していることは、多くの避難者へ安心・結城を与えられていると思います。
- 避難者独自の声をもっと聞きたいです。日曜日にも開催してほしいです。
- 活動をするために、それぞれのグループの情報交換が必要だと思います。
- 一般市民の人にも知ってほしい充実した内容だった。
- 避難者支援は地域によって差異もあります。それだけに各地域間を超えての共通項の抽出、相違、問題点、課題などが判れば良かった。
- 永い支援が続けるよう、ネットワークづくりの場づくりをお願いしたい。そして公助への働きかけの情報提供を。
- 開催地によってミーティングの内容、支援内容が異なると思う。それらの傾向など何らかの形でまとめるは？
- 2年経過、これからは勝負。私たちになにができるのか、「すべての人にきっと役割がある」。知らせる、忘れない、ミーティングが必要。

（※広域避難者支援ミーティング参加者アンケートより抜粋）



活動状況調査の実施

J C Nでは、2012年3月から4月にかけて、広域避難者支援に取り組む全国の支援団体を対象にしたアンケート調査を実施しました。調査では、広域避難者支援団体の活動状況、支援の内容、活動上の課題等を伺いました。

表3. 調査概要

調査名称	広域避難者支援団体のネットワークづくりのための活動実態調査
調査目的	広域避難者支援団体の活動状況、支援の内容、活動上の課題などを把握し、広域避難者支援に取り組む支援団体へのJ C Nとしての支援の方向性を検討するため。
調査期間	2012年3月～5月
調査対象	インターネット等での検索および支援活動関係者等からご紹介いただいた全国の支援団体。
調査方法	質問紙によるアンケート調査。 調査票の配布は、対象者によるウェブサイトからのダウンロード、または実施者からの郵送・ファクス・手渡しとした。回答票の回収は、回答者からの郵送またはメールとした。

調査報告書は、ウェブサイト公開するとともに、ご回答いただいた方々に郵送させていただきました。

この調査は、広域避難者支援ミーティングのプログラム内容の検討、ご登壇者の選定等に役立てられました。また、J C Nとして広域避難者支援にどのように取り組むか、その役割や全体の方向性等を検討する上での貴重な資料となっています。

関係者会議の開催

J C Nでは、全国的なネットワークを組織する団体や専門機関、行政、企業、支援団体等のみなさまにお集まりいただき、広域避難者支援の今後の展望と支援活動全般の方向性やその在り方等を検討する会合を開催してきました。

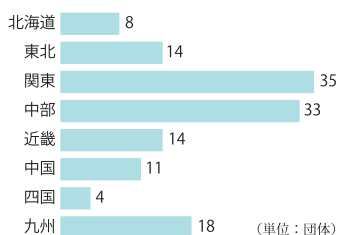
表4. 関係者会議の実施状況

開催月	主なテーマ	参加者数
7月	行政の避難者支援施策／子ども支援法案	27名
11月	復興基金／沖縄での避難者支援	24名
12月	保健医療制度／避難者支援基金	18名
1月	これまでの論点整理／政府等の動向	15名
2月	復興基金／民間の基金概況	16名
3月	浪江町の復興計画／復興基金の造成	15名

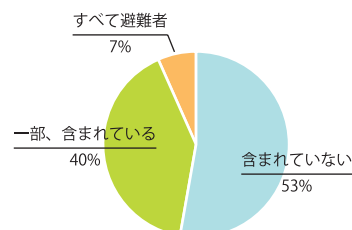
【トピック】.....

広域避難者を支援している団体の意識・実態

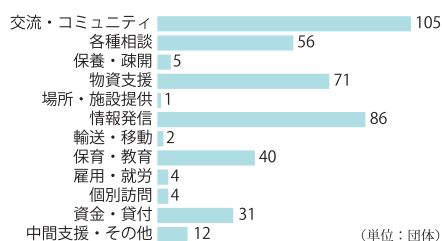
回答者（支援団体）の所在地



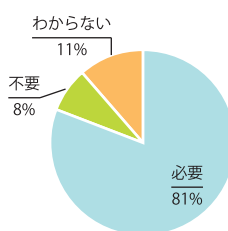
支援者の中に避難者は含まれていますか？



どんな活動をしていますか？



他の団体と連携・協力は必要ですか？



広域避難者支援団体のネットワークづくりのための活動実態調査
2012年 報告書より引用



後方支援活動の実施状況

関連省庁との連携

JCNでは、被災地支援活動と広域避難者支援活動の下支えをいただくために、関連省庁への定期的な訪問活動を継続しています。

2012年度は、復興庁、厚生労働省、内閣府等の関連部署へ、現地会議や広域避難者ミーティングの報告を行うとともに、国の施策の広報のご支援、復興や支援に関連する法案検討に資する情報提供等を行うことで、関連省庁とのつながりをつくってきました。

企業等との連携

JCNでは、設立以来、多くの企業のみなさまから、JCNの活動へのご参加をいただけてまいりました。2012年度は、ウェブサイトにて企業のみなさま向けの支援情報の提供、企業のみなさまにもご参加いただける支援関連イベント等を実施しました。

表4. 東北応援ビレッジの開催概要

開催名称	「東北応援ビレッジ」 もっとツナガリアうことで、これからの東北を支えたい
開催目的	被災地に向けて「忘れていない」ことを伝えるとともに、「忘れない」ために何ができるかを考える機会を創出する。
開催日程	2013年3月29日（金）・30日（土）の2日間
開催場所	シオサイト地下歩行者道（東京都港区）
来場者数	約4,900人
出店数	19団体
出演数	7団体



情報の収集と発信

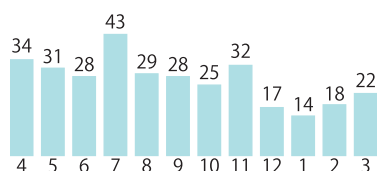
JCNの活動のもうひとつの顔とも言える情報の収集発信活動は、ウェブサイトを中心に継続しています。

2012年度は、情報収集の効率化、支援団体の活動状況、支援に関連する情報、更新頻度の向上、新規コンテンツ開発等を積極的に展開しました。5月には日本語サイトをリニューアル、9月には英文サイトを再構築しました。

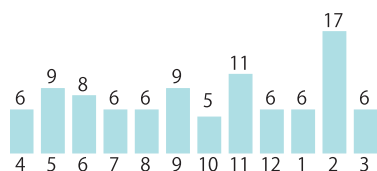
また、報道機関や広報関連企業等のみなさまのご協力とご助力をいただきながら、広報活動にも注力しました。

【トピック】 ウェブサイトのご利用状況例（支援団体から寄せられた情報数）

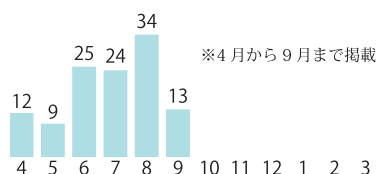
ボランティアバス運行情報の掲載申込数



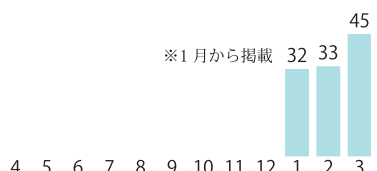
イベント開催情報の掲載申込数



保養プログラム情報の掲載申込数



全国交流会情報の掲載数



助成・寄付者一覧

下記の団体、企業、個人の皆様から助成・寄付を頂戴いたしました。ご支援に対し、改めて感謝を申し上げます。
※ 2012 年 4 月 1 日から 2013 年 3 月 31 日までにご協力いただいた方々を掲載しています。

助成

Japan Society
災害ボランティア・NPO活動サポート募金
タケダ・いのちとくらし再生プログラム
災害ボランティア活動支援プロジェクト会議

寄付者

アオキユカリ 様	タニグチマサヒロ 様
オオサカリナ 様	中央労働金庫 社会貢献基金 様
オノユウスケ 様	中国労働金庫 様
オバラケンイチ 様	つなげーと 様
九州地区遊技業組合 様	トヨタコウダイ 様
近畿日本ツーリスト 様	ニセコアンヌプリ 様
コンドウシュウジ 様	Panasonic ハートフルクラブ 様
シマダアキラ 様	ムラカミアヤコ 様

財務諸表

[税込] (単位：円) 2013 年 3 月 31 日現在

貸借対照表

【資産の部】	
現金・預金	19,222,806
未収金	6,287,633
仮払金	284,390
流動資産合計	25,794,829
資産の部合計	25,794,829
【負債の部】	
未払金	10,281,111
前受金	7,500,000
流動負債 計	17,781,111
負債の部合計	17,781,111
【正味財産の部】	
正味財産	8,013,718
(うち当期正味財産増加額)	△ 407,713
正味財産 計	8,013,718
負債・正味財産の部合計	25,794,829

収支計算書

【経常収入】	
助成金収入	38,935,919
寄付金収入	6,888,474
その他事業収入	324,449
経常収入 計	46,148,842
【管理費】	
管理費 計	8,121,663
【事業費】	
事業費 計	38,434,892
被災地支援活動	13,281,224
広域避難者支援活動	11,488,252
後方支援活動	13,665,416
経常収支差額	△ 407,713
当期正味財産増加額	△ 407,713
前期繰越正味財産額	8,421,431
当期正味財産合計	8,013,718

ご協力いただいた団体・個人のみなさま

※カッコ内の所属は当時のものです。

被災地支援活動

現地会議

第4回 現地会議 in 岩手

本多平直氏（内閣総理大臣 補佐官）／藤沢烈氏（復興庁）／岩手県 復興局 生活再建課／有原領一氏（社会福祉法人 宮古市社会福祉協議会）／若菜千穂氏（NPO 法人 いわて地域づくり支援センター 事務局）／大関輝一氏（大船渡アクションネットワーク会議 事務局）／鹿野順一氏（いわて連携復興センター）／稲垣文彦氏（社団法人 中越防災安全推進機構 復興デザインセンター）／丸山由明氏（新潟県 総務管理部）／池田啓一氏（NPO 法人 都市生活コミュニティセンター）／小山田聖子氏（NPO 法人 日本ファシリテーション協会）／NPO 法人 いわて連携復興センター／NPO 法人 日本ファシリテーション協会／NPO 法人 アワーブラネット・ティービー

第4回 現地会議 in 宮城

吉田裕也氏（みやぎ連携復興センター）／塚本卓氏（一般社団法人 気仙沼復興協会 福祉部）氏家義明氏（NPO 法人 がんぱと！！玉浦）／佐藤貞子氏（七ヶ浜町仮設店舗・七の市商店街・佐藤魚店）／紅邑晶子氏（みやぎ連携復興センター）／黒田裕子氏（NPO 法人 阪神高齢者・障害者支援ネットワーク）／稲垣文彦氏（社団法人 中越防災安全推進機構 復興デザインセンター）／浅野泰彦氏（社会福祉法人 柏崎市社会福祉協議会）／尾上昌毅氏（NPO 法人 日本ファシリテーション協会）／みやぎ連携復興センター／NPO 法人 日本ファシリテーション協会／NPO 法人 メディアージ

第5回 現地会議 in 岩手

鈴木浩之氏（岩手県 復興局）／青柳光昌氏（公益財団法人 日本財団）／佐藤健氏（NPO 法人 絆プロジェクト三陸）／山内幸治氏（NPO 法人 ETIC）／寺井良夫氏（もりおか復興支援ネットワーク）／菊池亮氏（社会福祉法人 釜石市社会福祉協議会）／石井布紀子氏（災害ボランティア活動支援プロジェクト会議）／田尻佳史氏（認定 NPO 法人 日本 NPO センター）／西田紫郎氏（復興庁）／坪井七夫氏（独立行政法人 福祉医療機構）／青柳光昌氏（公益財団法人 日本財団）／城千聡氏（社会福祉法人 中央共同募金会）／鈴木祐司氏（一般財団法人 地域創造基金みやぎ）／鹿野順一氏（NPO 法人 いわて連携復興センター）／NPO 法人 いわて連携復興センター／災害ボランティア活動支援プロジェクト会議／NPO 法人 日本ファシリテーション協会／NPO 法人 メディアージ

第4回 現地会議 in 福島

齊藤道雄氏（みちのく安達農業協同組合）／小笠原準人氏（チャイルドラインこおりやま）／佐々木昇美氏（社会福祉法人 福島県社会福祉協議会）／星久美子氏（認定 NPO 法人 ふるさと回復支援センター）／竹内俊之氏（NPO 法人 国際協力 NGO センター）／菅野正寿氏（NPO 法人 福島県有機農業ネットワーク）／中鉢博之氏（一般社団法人 ふくしま連携復興センター）／高山弘毅氏（災害ボランティア活動支援プロジェクト会議

運営支援者）／中鉢博之氏（一般社団法人 ふくしま連携復興センター）／NPO 法人 うつくしま NPO ネットワーク／一般社団法人 ふくしま連携復興センター／NPO 法人 国際協力 NGO センター／災害ボランティア活動支援プロジェクト会議／NPO 法人 日本ファシリテーション協会

第5回 現地会議 in 宮城

大久保朝江氏（NPO 法人 杜の伝言板ゆるる）／福田信章氏（東京災害ボランティアネットワーク）／田尻佳史氏（認定 NPO 法人 日本 NPO センター）／長沢恵美子氏（一般社団法人 経団連事業サービス）／西田紫郎氏（復興庁）／尾上昌毅氏（NPO 法人 日本ファシリテーション協会）／立岡学氏（一般社団法人 パーソナルサポートセンター）／渡辺日出夫氏（NPO 法人 ADRA Japan）／渡邊智恵子氏（株式会社 アバンティ）／家田えり子氏（株式会社 資生堂）／みやぎ連携復興センター／NPO 法人 日本ファシリテーション協会／NPO 法人 メディアージ

第1回 若手会議 in 岩手

臂徹氏（一般社団法人 おらが大槌夢広場）／藤原慧矢さん（岩手大学大学院）／多田裕哉さん（立教大学）／岡田勝太さん（法政大学）／佐藤修平さん（明治大学）／三井俊介さん／佐々木敦氏（復興応援隊）／大久保彩乃氏（NPO 法人 アムタ）／黒澤雅人氏（大船渡仮設住宅支援事業）／細川星児氏（岩手県 沿岸広域振興局）／山内英嗣氏（NPO 法人 @リアス NPO サポートセンター）／松崎光弘氏（株式会社 出藍社）／NPO 法人 いわて連携復興センター／NPO 法人 日本ファシリテーション協会／NPO 法人 メディアージ

第6回 現地会議 in 岩手

竹内隼人氏（公益財団法人 共生地域創造財団）／小池幸一氏（釜石市 復興推進本部 仮設住宅運営センター）／熊谷有祐氏（社会福祉法人 中央共同募金会）／葛巻徹氏（NPO 法人 いわて連携復興センター）／臂徹氏（一般社団法人 おらが大槌夢広場）／小野仁志氏（陸前高田まちづくり協働センター）／加藤勝氏（盛岡市 復興推進部事務局（危機管理課））／熊谷正和氏（岩手県 沿岸広域振興局 経営企画部）／NPO 法人 いわて連携復興センター／災害ボランティア活動支援プロジェクト会議／NPO 法人 日本ファシリテーション協会／NPO 法人 メディアージ

第5回 現地会議 in 福島

長谷川秀雄氏（3.11 被災者を支援するいわき連絡協議会・みんぷく）／小松豊明氏（認定 NPO 法人 シャプラニール＝市民による海外協力の会）／北爪英子氏（社会福祉法人 いわき市社会福祉協議会）／草野紀恵氏（社会福祉法人 橋葉町社会福祉協議会）／吉田恵美子氏（NPO 法人 ザ・ビーブル）／伊藤孝介氏（NPO 法人 フロンティア南相馬）／一般社団法人 ふくしま連携復興センター／NPO 法人 うつくしま NPO ネットワーク／災害ボランティア活動支援プロジェクト会議／3.11 被災者を支援するいわき連絡協議会／NPO 法人 日本ファシリテーション協会／NPO 法人 国

際協力 NGO センター／社会福祉法人 福島県社会福祉協議会

第6回 現地会議 in 宮城

桑原英文氏（災害ボランティア活動支援プロジェクト会議）／阿部由紀氏（社会福祉法人 石巻市社会福祉協議会）／塚本卓氏（気仙沼プラス）／山崎信哉氏（石巻仮設住宅自治連合推進会）／馬場照子氏（NPO 法人 互理いちごっこ）／白鳥孝太氏（公益社団法人 シャンティ国際ボランティア会）／中川政治氏（一般社団法人 みらいサポート石巻）／福田文氏（一般財団法人 地域創造基金みやぎ）／みやぎ連携復興センター／災害ボランティア活動支援プロジェクト会議／一般社団法人 みらいサポート石巻／NPO 法人 日本ファシリテーション協会／NPO 法人 メディアージ

地域コーディネーター団体訪問活動

311 受入全国協議会／311 被災者を支援するいわき連絡協議会／AmeriCares／Art Revival Connection TOHOKU／EN project Japan 実行委員会事務局／hangout place MINATO／い・くさのねプロジェクト／Japan Hope／MS&AD インシュアランス グループ ホールディングス 株式会社／NPO マザーリンク・ジャパン／NPO 法人 ADRA Japan／NPO 法人 CRMS 市民放射能測定所 福島／NPO 法人 ETIC．／NPO 法人 JACES／NPO 法人 NPO 事業サポートセンター／NPO 法人 SET／NPO 法人 うつくしま NPO ネットワーク／NPO 法人 カタリバ／NPO 法人 かまいリンク／NPO 法人 がんぱと！！玉浦／NPO 法人 がんばろう福島農業者等の会／NPO 法人 キッズドア／NPO 法人 ザ・ビーブル／NPO 法人 さんさんの会／NPO 法人 ジャパン・プラットフォーム／NPO 法人 シャローム／NPO 法人 スマイルシード／NPO 法人 センター123／NPO 法人 せんだい・みやぎ NPO センター／NPO 法人 ネットワークオレンジ／NPO 法人 ハビタット・フォー・ヒューマニティ・ジャパン／NPO 法人 ピースジャム／NPO 法人 ピンズふくしま／NPO 法人 ヒューマンソーシャルハーモニー研究所／NPO 法人 ふうとばん東北 AGAIN／NPO 法人 ふくしま NPO ネットワークセンター／NPO 法人 ふよう土／NPO 法人 ホープ・インターナショナル開発機構／NPO 法人 ボランティアインフォ／NPO 法人 まあむたかた／NPO 法人 みちのくふる里ネットワーク／NPO 法人 ゆうきの里東和 ふるさとづくり協議会／NPO 法人 リグリー／NPO 法人 リンク／NPO 法人 ワーカーズコープ／NPO 法人 ワンファミリー仙台／NPO 法人 浦戸福祉会／NPO 法人 遠野まごころネット／NPO 法人 応援のしっぽ／NPO 法人 吉里吉里国／NPO 法人 居場所創造プロジェクト／NPO 法人 元気なるう福島／NPO 法人 国際協力 NGO センター／NPO 法人 再生の里ヤルキタウン／NPO 法人 桜ライン311／NPO 法人 笑顔のお手伝い（NPO 法人 水・環境ネットワーク東北／NPO 法人 石巻復興支援ネットワーク／NPO 法人 全国コミュニティライフサポートセンター／NPO 法人 杜の伝言板ゆるる／NPO 法人 東北華僑華人協会／NPO 法人 働くお母さんと子どもを支援する会／NPO 法人 南茶和／NPO 法人 日本ファシリテーショ

ン協会／NPO 法人 福島県の児童養護施設の子どもの健康を考える会／NPO 法人 福島県有機農業ネットワーク／NPO 法人 福島農業復興ネットワーク／NPO 法人 明るい社会づくり運動 みやぎ明社／NPO 法人 勿来まちづくりサポートセンター／NPO 法人 陸前高田市支援連絡協議会 Aid TAKATA／NPO 法人 互理いちごっこ／NPO 法人 絆プロジェクト三陸／ReRoots／WATALIS／Youth for Ofunato／あおサポート／イオン 株式会社／いしのまきカフェ「」／いわき・まごころ双葉会／いわき食彩館 株式会社／いわて生活協同組合／おてら災害ボランティアセンター／おやこの広場 きりんきっず／ガーネットみやぎ／株式会社 ASTRAKHAN／株式会社 アストロ・テック／株式会社 光鶴舎／ギフトホープ／コマツリフト 株式会社／社会福祉法人 気仙沼市社会福祉協議会／社会福祉法人 山元町社会福祉協議会／すばらしい歌津をつくる協議会／チャイルドラインこおりやま／つながり・ぬくもりプロジェクト／にこにこサポート／ホープザ奥州／みちのく安達 農業協同組合／みやぎジョネット／みやぎ連携復興センター／やまもと復興応援センター／ゆいっこ花巻／ユナイテッド・アース／ワタマスマイル／わたりグリーンベルトプロジェクト運営委員会／一般財団法人 共生地域創造財団／一般財団法人 地域創造基金みやぎ／一般社団法人 MIMIX Lab／一般社団法人 OPEN JAPAN／一般社団法人 SAVE IWATE／一般社団法人 SAVE TAKATA／一般社団法人 チーム王冠／一般社団法人 パーソナルサポートセンター／一般社団法人 ピースボート災害ボランティアセンター／一般社団法人 ひと・企業未来創造リンク／一般社団法人 ふくしま会議／一般社団法人 ふくしま連携復興センター／一般社団法人 ふらっとー／一般社団法人 ボランティアステーション in 気仙沼／一般社団法人 みらいサポート石巻／一般社団法人 ワカク／一般社団法人 鶴住居まちづくりセンター／一般社団法人 気仙沼屈折復興マルシェ／一般社団法人 気仙沼復興協会／一般社団法人 社会的包摂サポートセンター／一般社団法人 全国心理業連合会／一般社団法人 東松島復興協議会／一般社団法人 日本カーシェアリング協会／一般社団法人 和 RING-PROJECT／華為技術日本 株式会社／株式会社 ジャパンクリエイティブ／株式会社 ジャパンリカバリー／株式会社 リベスト／株式会社 釜石ヒカリフーズ／株式会社 陸前高田手焼きせんべい／気楽会／気仙沼 NPO/NGO 連絡会／気仙沼プラス事務局／気仙沼市／公益財団法人 さわやか福祉財団／公益財団法人 みちのく未来基金／公益財団法人 日本ユニセフ協会／公益社団法人 シャンティ国際ボランティア会／公益社団法人 日本フィランソロピー協会／災害ボランティア活動支援プロジェクト会議／在宅・みなし支援者ネットワーク／三井住友海上火災保険 株式会社／三陸ひとと自然学校／志津川中学校仮設自治会／志津川復興支援団／社会福祉法人 山元町社会福祉協議会／社会福祉法人 石巻市社会福祉協議会／社会福祉法人 仙台市社会福祉協議会／社会福祉法人 大船渡市社会福祉協議会／社会福祉法人 中央共同募金会／社会福祉法人 橋葉町社会福祉協議会／社会福祉法人 福

鳥県社会福祉協議会／社団法人 おがるスターズ／女川おちゃっくクラブ／女川町復興サポート REALeYE／小浜浜通信／心のさろん／石巻医療圏 健康・生活復興協議会／石巻仮設住宅自治連合会／全国訪問ボランティアナースの会 キャンナス／大船渡市役所／大島青果／地星社／東松島青年有志会 インバルス／東北フューチャーネットワーク／南三陸 de お買い物／南三陸ネイチャーセンター友の会／南三陸ふっこう青年会／南三陸復興ダコの会／南相馬市小高地区の農業・生活再建支援の会／日本セルチャー・宣教ネットワーク／認定NPO 法人 100 万人のふさと回帰・循環運動推進・支援センター／認定 NPO 法人 ジャパン・プラットフォーム／認定 NPO 法人 シャプラニール＝市民による海外協力会の会／認定 NPO 法人 日本 NPO センター／被災者を NPO とつないで支える合同プロジェクト（つなプロ）／復興まちづくり推進力！ラムズ／復興支援団体 プラスネオ／福島県生活協同組合連合会／法テラス 東松島／万石浦漁業協同組合／民宿あたご荘／有限会社 大久保工業／陸前高田市／陸前高田市仮設住宅連絡会／陸前高田市復興サポートステーション／陸前高田未来商店街

広域避難者支援活動

広域避難者支援ミーティング

東海

青木佳史氏（大阪弁護士会）／佐藤大氏（NPO 団体 はままつ東北交流館）／井川景子氏（ゆるりつと会）／瀧川裕康氏（愛知県被災者支援センター）／向井忍氏（愛知県被災者支援センター、コープあいち参与）／岡田晴道氏（愛知県 防災局 災害対策課）／馬路充江氏（福島原発事故損害賠償 愛知弁護団）／仲本利子氏（中央共同募金会企画広報部）／石山和仁 氏（福島県 避難者支援課）／鈴木まり子氏（NPO 法人 日本ファシリテーション協会）／愛知県被災者支援センター／NPO 法人 ぎふ NPO センター／社会福祉法人 静岡県社会福祉協議会／社会福祉法人 浜松市社会福祉協議会／東日本大震災被災者支援ボランティアセンターなごや／みえ災害ボランティア支援センター／NPO 法人 日本ファシリテーション協会

近畿

二宮毅行氏（生きがいしごとサポートセンター 阪神南）／井出のり子氏（滋賀県労働者福祉協議会 ぐらしのサポートセンターしが）／影浦弘司氏（大阪ボランティア協会 企業市民活動推進センター 事務局）／高橋周介氏（奈良県被災者の会）／関嘉寛氏（関西学院大学 准教授）／青木佳史氏（大阪弁護士会）／武井共子氏（社会福祉法人 中央共同募金会）／石山和仁氏（福島県 避難者支援課）／杉村郁雄氏（NPO 法人 日本ファシリテーション協会）／近畿ろうきん／近畿ろうきん NPO パートナーシップ制度／全国労働者共済生活協同組合連合会（全労済）大阪府本部／大阪府下避難者支援団体等連絡協議会／関西学院大学 災害復興制度研究所／大阪労働者福祉協議会／ひょうごボランティアプラザ／NPO 法人 京都災害ボランティアネット／NPO 法人 日本ファシリテーション協会／社会福祉法人 全国社会福祉協議会

山形

稲垣文彦氏（社団法人 中越防災安全推進機構 復興デザインセンター）／佐藤多紀子氏（NPO 法人 にこっと）／高橋裕子氏（フクシマの子どもの未来を守る家）／井上肇氏（ボランティア山形）／千川原公彦氏（復興ボランティア支援センターやまがた）／渡邊陽氏（社会福祉法人 山形県社会福祉協議会）／福田健治氏（福島の子どもたちを守る法律家ネットワーク・SAFLAN）／城千聡氏（社会福祉法人 中央共同募金会）／田澤好一氏（福島県 避難者支援課）／飯島邦子氏（NPO 法人 日本ファシリテーション協会）復興ボランティア支援センターやまがた／山形県 企画振興部 県民文化課 県民活動プロスポーツ支援室／山形市／米沢市／社会福祉法人 山形県社会福祉協議会／最上の元氣研究所・VC を支援する会／NPO 法人 ぼらんたす／NPO 法人 日本ファシリテーション協会／社会福祉法人 全国社会福祉協議会

四国

間章氏（高知ボランティア・NPO センター）／渡部寛志氏（NPO 法人 えひめ 311）／渡辺さと子氏（福島の子どもたち 香川へおいでプロジェクト事務局）／島博司氏（とくしま母子疎開の会支援グループ）／中須雅治氏（近畿ろうきん地域共生部）／向井忍氏（愛知県被災者支援センター）／NPO 法人 日本ファシリテーション協会／有限会社 テレラザ

中国

大塚愛氏（子ども未来・愛ネットワーク）／三浦綾氏（ひろしま避難者の会「アスチカ」）／福井正樹氏（とっとり震災支援連絡協議会）／向井忍氏（愛知県被災者支援センター）／鈴木千賀子氏（広島市被災者支援ボランティア本部）／大城聡氏（福島の子どもたちを守る法律家ネットワーク・SAFLAN）／武井共子氏（社会福祉法人 中央共同募金会）／飯島邦子氏（NPO 法人 日本ファシリテーション協会）／広島市被災者支援ボランティア本部／NPO 法人 ひろしま NPO センター／NPO 法人 岡山 NPO センター／やまぐち県民活動支援センター／公益財団法人ふるさと島根定住財団／鳥取 NPO 経営会議／NPO 法人 ANT-Hiroshima／子ども未来・愛ネットワーク／とっとり震災支援連絡協議会／ひろらネット／NPO 法人 日本ファシリテーション協会／社会福祉法人 全国社会福祉協議会／中国労働金庫

九州

東日本大震災被災者支援 ふくおか市民ネットワーク／絆プロジェクト北九州会議／東日本大震災復興支援～絆～プロジェクトおおた／佐賀から元気を送ろうキャンペーン／長崎ソカイネットワーク／次の暮らしをつくるローカルメディア 3／大分県ボランティア・市民活動センター／うみがめのたまご 3.11 ネットワーク／マモトコかごしま／NPO 法人 ひろしま NPO センター／NPO 法人 日本ファシリテーション協会／NPO 法人 メディアージ

東京

社会福祉法人 荒川区社会福祉協議会／公益財団法人 さわやか福祉財団／一般社団法人 埼玉県労働者福祉協議会／東雲の会／東京災害ボランティアネットワーク／災害復興まちづくり支援機構／社会福祉法人 中央共同募金会／NPO 法人 日本ファシリテーション協会／広域避難者支援連絡会 in 東京準備会／震災がつなぐ全国ネットワーク×日本財団 ROAD プロジェクト／東京ボランティア・市民活動センター／とみおか子ども未来ネットワーク／福島県被災者同行会／人の輪ネット／NPO 法人 メディアージ／社会福祉法人 全国社会福祉協議会

北信越

全国広域避難当事者ネットワーク／NPO 法人 新潟 NPO 協会／とよま 311 ネット／NPO 法人 日本ファシリテーション協会

活動実態調査

NPO 活動交流センター／あいち NPO 交流プラザ／NPO 法人 あきたパートナーシップ／NPO 法人 旭川 NPO サポートセンター／NPO 法人 有田町どっとこむ／安城市民活動センター／伊勢原市 市民生活部 市民協働課／いちのせき市民活動センター／NPO 法人 磐田まちづくりネットワーク／大分市市民活動・消費生活センター／岡山県ボランティア・NPO 活動支援センター／小山市ボランティア支援センター／かごしま県民交流センター／春日井市市民活動支援センター／関西学院大学 災害復興制度研究所／県民ボランティア活動支援センター／子どもたちを放射能から守る全国ネットワーク／子どもたちを放射能から守る福島ネットワーク／認定 NPO 法人 市民活動センター神戸／社会福祉法人 全国社会福祉協議会／茅ヶ崎市民活動サポートセンター／社会福祉法人 中央共同募金会／とちぎ市民活動推進センターくらら／長野 NPO センター／長野県 県民協働・NPO 課／認定 NPO 法人 日本 NPO センター／公益財団法人 日本 YMCA 同盟／日本生活協同組合連合会／八王子市市民活動支援センター／福岡県 NPO・ボランティアセンター／福島市市民活動サポートセンター／ふじのくに NPO 活動センター／ふじみ野市立市民活動支援センター／公益財団法人 ふるさと島根定住財団／北海道 NPO 被災者支援ネット／前橋市市民活動支援センター／NPO 法人 まち創り／松阪市市民活動センター／まつやま NPO サポートセンター／三鷹市市民協働センター／わかやま NPO センター

関係者会議

関西学院大学 災害復興制度研究所／田並尚恵氏（川崎医療福祉大学 医療福祉学部 医療福祉学科 准教授）／河崎健一郎氏（福島の子どもたちを守る法律家ネットワーク・SAFLAN）／水沢泰正氏（新潟県 県民生活・環境部 震災復興支援課）／高橋征仁氏（山口大学 人文学部 人文社会学科 社会学講座）／栗林令子氏（東京保険医協会 研究部担当事務局）／山中茂樹氏（関西学院大学 災害復興制度研究所）／玉川啓氏（浪江町 復興推進課）

後方支援活動

関連省庁との連携

復興庁・内閣府・厚生労働省・国土交通省

企業等との連携

中央労働金庫／災害ボランティア活動支援プロジェクト会議／1％（ワンパーセント）クラブ／一般社団法人 経団連事業サービス／株式会社電通／一般社団法人汐留地区街づくり連合協議会／日本たばこ産業 株式会社／ジェイティ物流 株式会社／日本アイ・ビー・エム株式会社／株式会社 エヌ・ティ・ティ・データ／旭化成グループ／パナソニック 株式会社／三菱自動車工業 株式会社／日産自動車 株式会社／三井化学 株式会社／花王 株式会社／日清製粉グループ／富士通 株式会社／株式会社 損害保険ジャパン／住友三井オートサービス 株式会社／アビームコンサルティング 株式会社／S M B C 日興証券 株式会社／株式会社 資生堂／株式会社 電通テック／三菱地所 株式会社／株式会社日立ハイテクノロジーズ／株式会社 日立製作所／日立コンピュータ機器 株式会社／幸洋商事 株式会社／法政大学／清泉 YMCA／わたしの図書館 ミルキーウェイ／「広がれボランティアの輪」連絡会議／NPO 法人 NPO 事業サポートセンター／認定 NPO 法人 国際協力 NGO センター／社会福祉法人 中央共同募金会／東京災害ボランティアネットワーク／認定 NPO 法人 日本 NPO センター／公益財団法人 日本財団／日本生活協同組合連合会／公益社団法人 日本青年会議所／公益財団法人 日本 YMCA 同盟／NPO 法人 レスキューストックヤード／NPO 法人 国際ボランティア学生協会／日本テレビ放送網株式会社／東京都 交通局／復興庁

情報の収集と発信

大野沙知子／藤田ゆうき／志賀慶一／株式会社 電通／株式会社 博報堂／シックス・アパート 株式会社／ソフトバンクテレコム 株式会社／NPO 法人 メディアージ／認定 NPO 法人 国際協力 NGO センター／おおつちさいがいエフエム／一般社団法人 共同通信社／株式会社 IBC 岩手放送／株式会社 エフエム岩手／株式会社 ケーブルテレビ山形／株式会社 テレビユー山形／株式会社 テレビ愛媛／株式会社 テレビ新広島／株式会社 フジテレビジョン／株式会社 リエゾンパブリッシング／株式会社 河北新報社／株式会社 岩手めんこいテレビ／株式会社 金曜日／株式会社 山陰中央新報社／株式会社 山形テレビ／株式会社 山形新聞社／株式会社 時事通信社／株式会社 新潟日報社／株式会社 神戸新聞社／株式会社 中国新聞社／株式会社 中日新聞社／株式会社 朝日新聞社／株式会社 東海新報社／株式会社 読売新聞グループ本社／株式会社 日本経済新聞社／株式会社 福祉新聞社／株式会社 福島中央テレビ／株式会社 福島民報社／株式会社 毎日新聞社／株式会社 岩手日報社／公明党 公明新聞／中京テレビ放送 株式会社／日本テレビ放送網 株式会社／日本放送協会／福島民友新聞社 株式会社／有限会社 盛岡タイムス社／読売テレビ放送 株式会社

2012 - 13 SUMMARY ANNUAL REPORT



Japan Civil Network for Disaster Relief in the East Japan (JCN)

東日本大震災支援全国ネットワーク

2012 年度

年次報告書

発行 2013 年 5 月

東日本大震災支援全国ネットワーク（JCN）事務局

〒 100-0004

東京都千代田区大手町 2-2-1 新大手町ビル 245 JNPOC 気付

TEL / 03-3277-3636 FAX / 03-6701-7332

URL / <http://www.jpn-civil.net/>